

令和4事業年度財務諸表の概要



目次

法人単位

1-1.	令和4事業年度決算のポイント①	1
1-2.	令和4事業年度決算のポイント②	2
2-1.	資産の状況	3
2-2.	負債の状況	4
2-3.	純資産の状況	5
3.	行政コストの状況	6
4-1.	損益状況	7
4-2.	奨学金事業の損益状況	8
4-3.	留学生支援事業の損益状況	9
4-4.	学生生活支援事業の損益状況	10
5.	純資産変動計算書	11
6.	キャッシュ・フローの状況	12

一般勘定

7-1.	資産の状況	13
7-2.	負債の状況	14
7-3.	純資産の状況	15
8.	行政コストの状況	16
9.	損益の状況	17
10.	純資産変動計算書	18
11.	キャッシュ・フローの状況	19

学資支給業務勘定

12.	資産・負債・純資産の状況	20
13.	行政コストの状況	21
14.	損益の状況	22
15.	純資産変動計算書	23
16.	キャッシュ・フローの状況	24

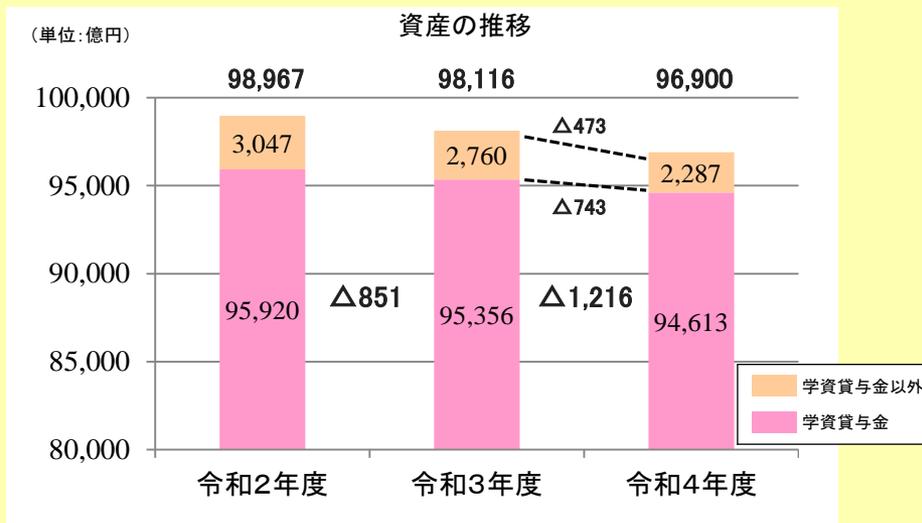
注)単位未満は四捨五入のため、合計額が一致しない場合がある。

1-1. 令和4事業年度決算のポイント①

◆ 資産及び負債の減

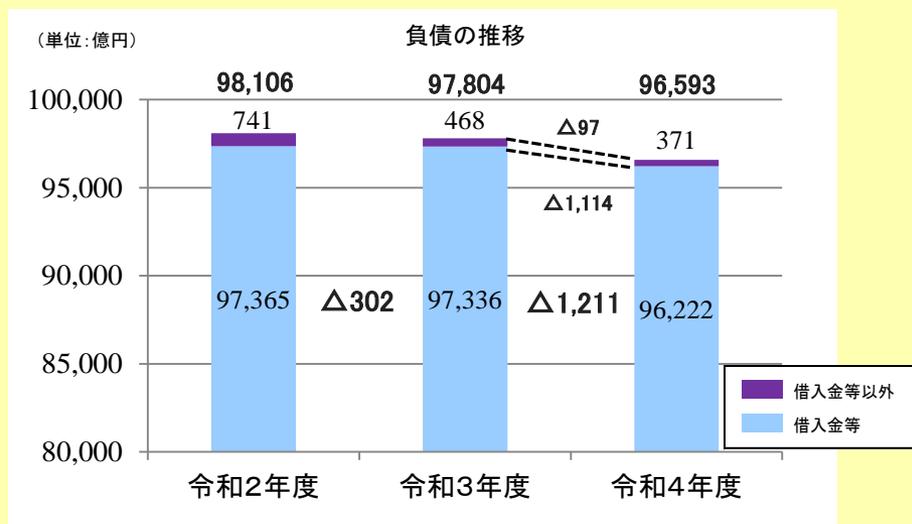
資産

貸与奨学金から給付奨学金へのシフトにより、学資貸与金資産は△743億円の減少。貸与奨学金事業費繰越金の減による現預金の減等により、学資貸与金以外の資産は△473億円減少し、資産全体は△1,216億円の減少。



負債

長期借入金の減により、資金調達による借入金等は△1,114億円の減少。補助金の未執行分による預り補助金の減により、借入金等以外の負債は△97億円減少し、負債全体は△1,211億円の減少。

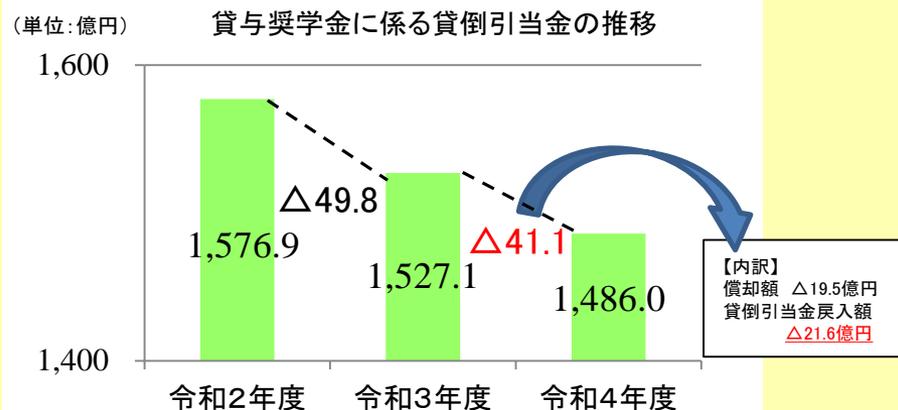


1-2. 令和4事業年度決算のポイント②

◆ 臨時利益として貸倒引当金の戻入益を計上

学資金に係る貸倒引当金については、奨学金債権の返還金回収をより適切に促進したこと等に伴い貸倒引当金の要引当額(償却額)が減少したことにより、貸倒引当金戻入益が22億円(会計上の利益)が発生した。

なお、この貸倒引当金戻入額(△22億円)を経常費用から除外して臨時利益として計上したことにより、22億円の経常損失を計上。



◆ 当期総利益 0.8億円を計上

経常損失22.2億円から、臨時利益に計上した貸倒引当金戻入益21.6億円を計上、更に、前中期目標期間中に自己収入で取得した資産の減価償却に伴う損失を補填するために1.4億円を繰越積立金から取り崩したこと等により、当期総利益は0.8億円を計上。

なお、当期純損失0.6億円は、主に自己収入で取得した資産の減価償却により発生している。

損益計算書

(単位:億円)

区分	金額
経常費用	2,345.9
経常収益	2,323.8
経常損失	22.2
臨時損失	0.0
臨時利益	21.6
当期純損失	0.6
前中期目標期間繰越積立金取崩額	1.4
当期総利益	0.8

◆ 注記事項等

・市谷事務所再整備事業

市谷事務所再整備事業に係る予算が、令和4年度第二次補正予算において措置されたため、令和5年度における同事務所の減損の予定について注記するとともに、工事期間中の仮事務所にかかる原状回復費用について、資産除去債務として計上。

・「分別の利益」を争点とした奨学金返還訴訟

原告その他返金を希望する保証人に対して8億円を返金(キャッシュ・フロー計算書において、業務活動によるキャッシュ・フロー、学資金の回収による収入の減・自己収入等の減として、これらの項目に含まれます。)

2-1. 資産の状況(法人単位)

資産の部

(単位:億円)

区分	3年度	4年度	増減
【資産の部】			
I 流動資産	97,415	96,318	△ 1,098
現金及び預金	3,412	3,125	△ 287
貸付金	93,810	93,110	△ 701
第一種学貸与金	28,643	28,467	△ 177
第二種学貸与金	65,489	64,943	△ 546
貸倒引当金	△ 322	△ 300	22
有価証券	164	40	△ 124
その他の流動資産	29	43	14
II 固定資産	701	582	△ 119
有形固定資産	320	319	△ 1
無形固定資産	103	107	4
投資その他の資産	278	156	△ 122
投資有価証券	40	-	△ 40
破産再生更生債権等	1,224	1,203	△ 21
貸倒引当金	△ 1,205	△ 1,186	19
未収財源措置予定額	177	95	△ 82
退職給付引当金見返	41	42	0
差入保証金	1	3	1
資産合計	98,116	96,900	△ 1,217

流動資産: 9兆6,318億円(対前年度 △1098億円)

貸付金の減等による。

固定資産: 582億円(対前年度 △119億円)

貸倒引当金繰入額の減による未収財源措置予定額の減等による。



資産合計: 9兆6,900億円(対前年度 △1,217億円)

【参考】奨学金債権の内訳

(単位:億円)

	奨学金債権額	貸倒引当金	貸倒引当率
第一種学貸与金	28,840	△ 422	1.47%
第二種学貸与金	65,772	△ 1,063	1.62%
合計	94,612	△ 1,486	1.57%

2-2. 負債の状況(法人単位)

負債の部

(単位:億円)

区分	3年度	4年度	増減
【負債の部】			
I 流動負債	9,990	9,806	△ 184
一年以内償還予定日本学生支援債券	1,200	1,200	-
一年以内返済予定長期借入金	8,482	8,387	△ 94
未払費用	49	51	2
その他流動負債	259	168	△ 92
II 固定負債	87,814	86,787	△ 1,027
日本学生支援債券	1,200	1,200	-
長期借入金	86,454	85,435	△ 1,020
その他固定負債	160	153	△ 7
負債合計	97,804	96,593	△ 1,211

流動負債: 9,806億円(対前年度 △184億円)

一年以内返済予定長期借入金の減等による。

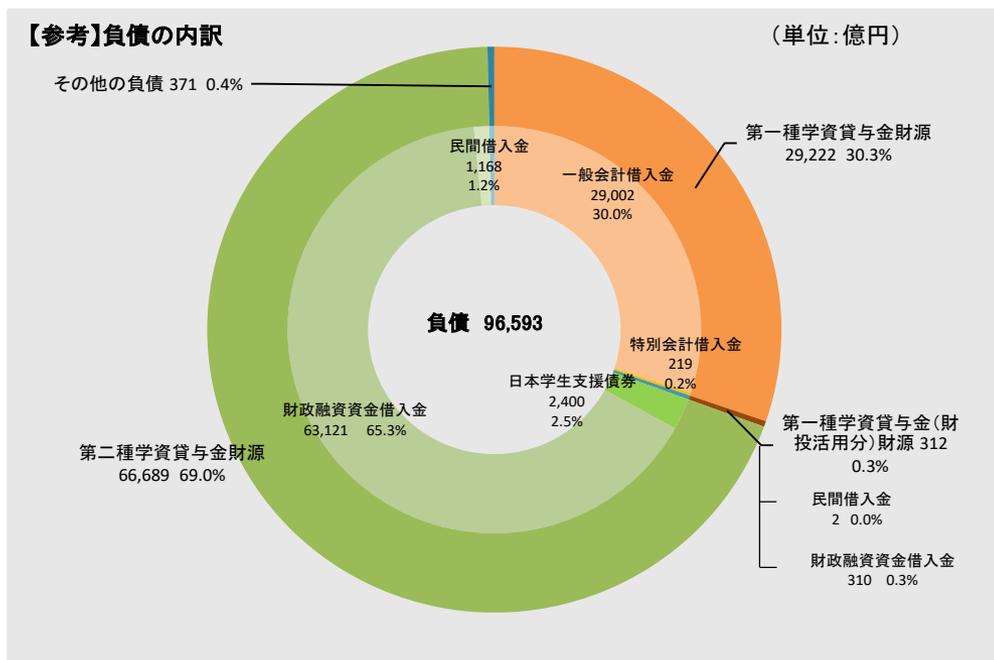
固定負債: 8兆6,787億円(対前年度 △1,027億円)

長期借入金の減等による。



負債合計: 9兆6,593億円(対前年度 △1,211億円)

【参考】負債の内訳



2-3. 純資産の状況(法人単位)

純資産の部

(単位:億円)

区分	3年度	4年度	増減
【純資産の部】			
I 資本金	1	1	-
政府出資金	1	1	-
II 資本剰余金	301	296	△ 5
資本剰余金	△ 6	△ 6	-
その他行政コスト累計額	△ 281	△ 286	△ 5
減価償却相当累計額	△ 173	△ 178	△ 5
除売却差額相当累計額	△ 108	△ 108	△ 0
民間出えん金	587	587	-
III 利益剰余金	11	10	△ 1
前中期目標期間繰越積立金	2	1	△ 1
積立金	96	8	△ 88
当期末処分利益又は当期末処理損失(△)	△ 88	1	89
(うち当期総利益又は当期総損失(△))	△ 88	1	89
純資産合計	312	307	△ 6

資本金: 1億円(対前年度 増減なし)

機構設立時に政府から出資されたものであり、設立以来増減はなく、当年度においても1億円を計上。

資本剰余金: 296億円(対前年度 △5億円)

減価償却相当累計額の増による減。

利益剰余金: 10億円(対前年度 △1億円)

前中期目標期間繰越積立金の取り崩し及び当期利益1億円を計上。



純資産合計: 307億円(対前年度 △6億円)

3. 行政コストの状況(法人単位)

◆ 行政コスト計算書・・・行政サービスの提供に要したコスト(損益計算書上の費用及びその他行政コストを加算したもの)を記載。

(単位:億円)

区分	3年度	4年度	増減
I 損益計算書上の費用			
損益計算書上の費用合計	3,389	2,346	△ 1,044
II その他行政コスト			
減価償却相当額	8	5	△ 2
除売却差額相当額	0	0	0
その他行政コスト合計	8	5	△ 2
III 行政コスト	3,397	2,351	△ 1,046

※注記

	3年度	4年度
行政コスト	3,397	2,351
自己収入等	△ 340	△ 305
機会費用	66	158
独立行政法人の運営に関して国民の負担に帰せられるコスト	3,123	2,204

I 損益計算書上の費用 : 2,346億円(対前年度 △1,044億円)

学生支援緊急給付金給付事業の終了に伴う奨学金業務費の減、及び前年度に計上した臨時損失(未収財源措置予定額取崩)の剥落による。

II その他行政コスト : 5億円(対前年度 △2億円)

減価償却相当額 : 5億円(対前年度 △2億円)

特定の資産(※)に係る減価償却。

除売却差額相当額 : 0億円

特定の資産(※)に係る除売却。

※ 特定の資産とは、減価償却額等を損益計算書上の費用に計上しないものとして特定された資産



I + II = III 行政コスト: 2,351億円(対前年度 △1,046億円)

4-1. 損益状況(法人単位)

(単位:億円)

区分	3年度	4年度	増減
【経常費用】	2,846	2,346	△ 500
業務費	2,822	2,321	△ 501
奨学金業務費	1,296	684	△ 612
学資金支給業務費	9	3	△ 6
修学支援学資金支給業務費	1,427	1,504	77
留学生支援事業費	87	127	40
学生生活支援事業費	2	3	0
一般管理費	24	25	1
【経常収益】	2,809	2,324	△ 485
運営費交付金収益	138	145	8
学資金利息	238	217	△ 22
延滞金収入	35	31	△ 4
国庫補助金収益	2,060	1,570	△ 490
政府補給金収益	284	299	15
助成金収益	1	0	△ 0
財務収益	0	0	0
その他収益	53	61	8
経常損失	37	22	△ 15
臨時損失	544	0	△ 544
臨時利益	39	22	△ 18
当期純損失	542	1	△ 541
前中期目標期間繰越積立金取崩額	454	1	△ 452
当期総利益又は当期総損失(△)	△ 88	1	89

経常費用: 2,346億円(対前年度 △500億円)

学生支援緊急給付金給付事業の終了に伴う奨学金業務費の減等による。

経常収益: 2,324億円(対前年度 △485億円)

学生支援緊急給付金給付事業費補助金の執行に伴う収益化の減等による。

経常損失: 22億円(対前年度 △15億円)

上記及び貸倒引当金戻入益を臨時利益に計上したことにより、22億円の経常損失を計上。

臨時損失: 0億円(対前年度 △544億円)

前年度に計上した臨時損失(未収財源措置予定額取崩)の剥落。

臨時利益: 22億円(対前年度 △18億円)

貸倒引当金戻入益22億円等を計上。

当期純損失: 1億円(対前年度 △541億円)

自己収入で取得した資産の減価償却により計上。

前中期目標期間繰越積立金取崩額: 1億円(対前年度 △452億円)

第3期中期目標期間中に自己収入で取得した資産の減価償却に伴う損失を補填するために1億円を繰越積立金から取り崩し。



当期総利益: 1億円(対前年度 +89億円)

4-2. 奨学金事業の損益状況(法人単位)

奨学金事業

(単位:億円)

区分	3年度	4年度	増減
【事業費用】	2,733	2,191	△ 541
奨学金業務費	1,296	684	△ 612
緊急給付金	603	-	△ 603
返還免除損	256	214	△ 41
未収財源措置予定額取崩高	83	106	24
支払利息	224	217	△ 7
その他費用	131	146	15
学資金支給業務費	9	3	△ 6
修学支援学資金支給業務費	1,427	1,504	77
【事業収益】	2,692	2,167	△ 525
運営費交付金収益	68	72	4
学資金利息	238	217	△ 22
延滞金収入	35	31	△ 4
国庫補助金収益	2,042	1,517	△ 525
政府補給金収益	284	299	15
その他収益	24	30	6
財務収益	0	0	0
事業損失	41	24	△ 17
臨時損失	544	0	△ 544
臨時利益	39	22	△ 18
当期純損失	545	2	△ 543
前中期目標期間繰越積立金取崩額	454	1	△ 452
当期総損失	91	1	△ 90

事業費用: 2,191億円(対前年度 △541億円)

学生支援緊急給付金給付事業の終了に伴う奨学金業務費の減等による。

事業収益: 2,167億円(対前年度 △525億円)

学生支援緊急給付金給付事業費補助金の執行に伴う収益化の減等による。

事業損失: 24億円(対前年度 △17億円)

上記及び貸倒引当金戻入益を臨時利益に計上したことにより、24億円の事業損失を計上。

臨時損失: 0億円(対前年度 △544億円)

前年度に計上した臨時損失(未収財源措置予定額取崩)の剥落。

臨時利益: 22億円(対前年度 △18億円)

貸倒引当金戻入益22億円等を計上。



当期総損失: 1億円(対前年度 △90億円)

4-3. 留学生支援事業の損益状況(法人単位)

留学生支援事業

(単位:億円)

区分	3年度	4年度	増減
【事業費用】	87	127	40
留学生学資金支給業務費	57	95	39
留学生寄宿舎運営業務費	8	10	2
留学試験業務費	9	10	1
日本語予備教育業務費	8	8	△ 0
留学生交流推進業務費	6	5	△ 1
【事業収益】	90	130	40
運営費交付金収益	45	49	4
留学生宿舍収入	6	6	1
日本語学校収入	3	3	0
日本留学試験検定料収入	6	5	△ 0
国庫補助金収益	18	52	35
寄附金収益	7	7	△ 0
その他事業収益	6	7	1
事業損益	3	2	△ 1
臨時損失	0	0	△ 0
臨時利益	0	0	△ 0
当期純利益	3	2	△ 1
前中期目標期間目的積立金取崩額	0	0	△ 0
当期総利益	3	3	△ 1

事業費用: 127億円(対前年度 +40億円)

留学生学資金支給業務費の増等による。

事業収益: 130億円(対前年度 +40億円)

留学生交流支援事業費補助金等の執行に伴う収益化の増等による。

事業損失: 2億円(対前年度 △1億円)

自己収入を財源とする資産の取得に係る会計上の利益等。

臨時損失: 0億円(対前年度 △0億円)

臨時利益: 0億円(対前年度 △0億円)



当期総利益: 3億円(対前年度 △1億円)

4-4. 学生生活支援事業の損益状況(法人単位)

学生生活支援事業

(単位:億円)

区分	3年度	4年度	増減
【事業費用】	2.5	2.8	0.3
研修・情報提供業務費	1.2	1.1	△ 0.1
修学環境等調査研究業務費	1.3	1.7	0.4
【事業収益】	2.6	3.0	0.3
運営費交付金収益	2.3	2.3	0.1
国庫補助金収益	-	-	-
その他収益	0.3	0.6	0.3
事業損益	0.1	0.2	0.05
臨時損失	0.0	0.0	0.0
臨時利益	0.0	0.0	0.0
当期純利益	0.1	0.2	0.0
前中期目標期間繰越積立金取崩額	-	-	-
当期総利益	0.1	0.2	0.05

事業費用: 2.8億円(対前年度 +0.3億円)

学生生活調査(隔年実施)に係る実施経費に伴う、修学環境等調査研修事業費の増による。

事業収益: 3.0億円(対前年度 +0.3億円)

その他収益の増による。

事業損失: 0.2億円(対前年度 +0.05億円)

自己収入を財源とする資産の取得に係る会計上の利益等。

臨時損失: 0.0億円(対前年度 +0.0億円)

臨時利益: 0.0億円(対前年度 +0.0億円)



当期総利益: 0.2億円(対前年度 +0.05億円)

5. 純資産変動計算書(法人単位)

◆ 純資産変動計算書…期中におけるすべての純資産の変動を表したもの。

当期末残高は貸借対照表の純資産の部に記載されている残高と一致する。

(単位: 億円)

区分	I 資本金		II 資本剰余金						III 利益剰余金	純資産合計	
	政府出資金	資本金合計	資本剰余金	その他行政コスト累計額		民間出えん金	資本剰余金合計	利益剰余金			
				国庫納付差額	その他※				減価償却相当累計額(-)		除売却差額相当累計額(-)
当期首残高	1	1	△ 6	△ 6	0	△ 173	△ 108	587	301	11	312
当期変動額											
I 資本金の当期変動額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
II 資本剰余金の当期変動額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
固定資産の除売却	-	-	-	-	-	0	△ 0	-	△ 0	-	△ 0
減価償却	-	-	-	-	-	△ 5	-	-	△ 5	-	△ 5
III 利益剰余金の当期変動額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 1	△ 1
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△ 5	△ 0	-	△ 5	△ 1	△ 6
当期末残高	1	1	△ 6	△ 6	0	△ 178	△ 108	587	296	10	307

※ 機構発足時に国から承継した資産

当期末残高: 307億円

6. キャッシュ・フローの状況(法人単位)

(単位:億円)

区分	3年度	4年度	増減
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	305	△ 431	△ 736
人件費支出	△ 48	△ 48	0
学資貸与金の貸付による支出	△ 8,664	△ 8,477	187
学資支給金の支給による支出	△ 9	△ 3	6
修学支援学資支給金の支給による支出	△ 1,427	△ 1,504	△ 77
借入金の返済等による支出	△ 26,335	△ 22,614	3,721
補助金等収入	2,423	1,893	△ 529
学資金の回収による収入	8,961	8,987	26
借入等による収入	26,557	21,732	△ 4,825
自己収入等	304	277	△ 27
その他収入・支出	△ 1,456	△ 675	781
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 14	152	166
有価証券の償還による収入	-	164	164
有形固定資産の取得による支出	△ 3	△ 8	△ 5
無形固定資産の取得による支出	△ 12	△ 9	3
その他収入・支出	△ 0	4	4
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6	△ 7	△ 1
リース債務の返済による支出	△ 6	△ 7	△ 1
IV 資金に係る換算差額	-	-	-
V 資金増減額	284	△ 287	△ 572
VI 資金期首残高	3,127	3,412	284
VII 資金期末残高	3,412	3,125	△ 287

業務活動によるキャッシュ・フロー: △431億円(対前年度△736億円)
貸与奨学金から給付奨学金へのシフトによる借入等の収入の減等。

投資活動によるキャッシュ・フロー: 152億円(対前年度 +166億円)
有価証券の償還による収入の増等による資金の増。

財務活動によるキャッシュ・フロー: △7億円(対前年度 △1億円)
リース債務の返済による支出の増等による。

資金増減額 : △287億円(対前年度 △572億円)
上記により、前年度から287億円の資金の減。



資金期末残高: 3,125億円(対前年度 △287億円)

7-1. 資産の状況(一般勘定)

資産の部

(単位:億円)

区分	3年度	4年度	増減
【資産の部】			
I 流動資産	97,398	96,313	△ 1,085
現金及び預金	3,396	3,121	△ 275
貸付金	93,810	93,110	△ 701
第一種学資貸与金	28,643	28,467	△ 177
第二種学資貸与金	65,489	64,943	△ 546
貸倒引当金	△ 322	△ 300	22
有価証券	164	40	△ 124
その他の流動資産	28	42	14
II 固定資産	701	582	△ 119
有形固定資産	320	319	△ 1
無形固定資産	103	107	4
投資その他の資産	278	156	△ 122
投資有価証券	40	-	△ 40
破産再生更生債権等	1,224	1,203	△ 21
貸倒引当金	△ 1,205	△ 1,186	19
未収財源措置予定額	177	95	△ 82
退職給付引当金見返	41	42	0
差入保証金	1	3	1
資産合計	98,099	96,895	△ 1,204

流動資産: 9兆6,313億円(対前年度 △1,085億円)

貸付金の減等による。

固定資産: 582億円(対前年度 △119億円)

貸倒引当金繰入額の減による未収財源措置予定額の減等による。



資産合計: 9兆6,895億円(対前年度 △1,204億円)

7-2. 負債の状況(一般勘定)

負債の部

(単位:億円)

区分	3年度	4年度	増減
【負債の部】			
I 流動負債	9,983	9,805	△ 178
一年以内償還予定日本学生支援債券	1,200	1,200	-
一年以内返済予定長期借入金	8,482	8,387	△ 94
未払費用	49	51	2
その他流動負債	252	168	△ 85
II 固定負債	87,804	86,783	△ 1,021
日本学生支援債券	1,200	1,200	-
長期借入金	86,454	85,435	△ 1,020
その他固定負債	150	148	△ 1
負債合計	97,787	96,589	△ 1,198

流動負債: 9,805億円(対前年度 △178億円)

一年以内返済予定長期借入金の減等による。

固定負債: 8兆6,783億円(対前年度 △1,021億円)

長期借入金の減等による。



負債合計: 9兆6,589億円(対前年度 △1,198億円)

7-3. 純資産の状況(一般勘定)

純資産の部

(単位:億円)

区分	3年度	4年度	増減
【純資産の部】			
I 資本金	1	1	-
政府出資金	1	1	-
II 資本剰余金	301	296	△ 5
資本剰余金	△ 6	△ 6	-
その他行政コスト累計額	△ 281	△ 286	△ 5
減価償却相当累計額	△ 173	△ 178	△ 5
除売却差額相当累計額	△ 108	△ 108	△ 0
民間出えん金	587	587	-
III 利益剰余金	11	10	△ 1
前中期目標期間繰越積立金	2	1	△ 1
積立金	96	8	△ 88
当期末処分利益又は当期末処理損失(△)	△ 88	1	89
(うち当期総利益又は当期総損失(△))	△ 88	1	89
純資産合計	312	307	△ 6

資本金: 1億円(対前年度 増減なし)

機構設立時に政府から出資されたものであり、設立以来増減はなく、当年度においても1億円を計上。

資本剰余金: 296億円(対前年度 △5億円)

減価償却相当累計額の増による減。

利益剰余金: 10億円(対前年度 △1億円)

前中期目標期間繰越積立金の取り崩し及び当期利益1億円を計上。



純資産合計: 307億円(対前年度 △6億円)

8. 行政コストの状況(一般勘定)

◆ 行政コスト計算書・・・行政サービスの提供に要したコスト(損益計算書上の費用及びその他行政コストを加算したもの)を記載。

(単位:億円)

区分	3年度	4年度	増減
I 損益計算書上の費用			
損益計算書上の費用合計	3,380	2,343	△ 1,037
II その他行政コスト			
減価償却相当額	8	5	△ 2
除売却差額相当額	0	0	0
その他行政コスト合計	8	5	△ 2
III 行政コスト	3,388	2,348	△ 1,040

※注記	3年度	4年度
行政コスト	3,388	2,348
自己収入等	△ 340	△ 301
機会費用	66	158
独立行政法人の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト	3,114	2,201

I 損益計算書上の費用：2,343億円(対前年度△1,037億円)

学生支援緊急給付金給付事業の終了に伴う奨学金業務費の減、及び前年度に計上した臨時損失(未収財源措置予定額取崩)の剥落による。

II その他行政コスト：5億円(対前年度△2億円)

減価償却相当額：5億円(対前年度△2億円)

特定の資産(※)に係る減価償却。

除売却差額相当額：0億円

特定の資産(※)に係る除売却。

※ 特定の資産とは、減価償却額等を損益計算書上の費用に計上しないものとして特定された資産



I + II = III 行政コスト：2,348億円(対前年度△1,040億円)

9. 損益の状況(一般勘定)

(単位:億円)

区分	3年度	4年度	増減
【経常費用】	2,836	2,343	△ 494
業務費	2,812	2,318	△ 494
奨学金事業費	1,296	684	△ 612
修学支援学資金支給業務費	1,427	1,504	77
留学生支援事業費	87	127	40
学生生活支援事業費	2	3	0
一般管理費	24	25	1
【経常収益】	2,799	2,321	△ 478
運営費交付金収益	138	145	8
学資金利息	238	217	△ 22
延滞金収入	35	31	△ 4
国庫補助金収益	2,050	1,567	△ 483
政府補給金収益	284	299	15
財務収益	0	0	0
その他収益	54	61	7
経常損失	37	22	△ 15
臨時損失	544	0	△ 544
臨時利益	39	22	△ 18
当期純損失	542	1	△ 541
前中期目標期間繰越積立金取崩額	454	1	△ 452
当期総利益又は当期総損失(△)	△ 88	1	89

経常費用: 2,343億円(対前年度 △494億円)

学生支援緊急給付金給付事業の終了に伴う奨学金業務費の減等による。

経常収益: 2,321億円(対前年度 △478億円)

学生支援緊急給付金給付事業費補助金の執行に伴う収益化の減等による。

経常損失: 22億円(対前年度 △15億円)

上記及び貸倒引当金戻入益を臨時利益に計上したことにより、22億円の経常損失を計上。

臨時損失: 0億円(対前年度 △544億円)

前年度に計上した臨時損失(未収財源措置予定額取崩)の剥落。

臨時利益: 22億円(対前年度 △18億円)

貸倒引当金戻入益22億円等を計上。

当期純損失: 1億円(対前年度 △541億円)

自己収入を財源とする資産の取得に係る会計上の利益等。

前中期目標期間繰越積立金取崩額: 1億円(対前年度 △452億円)

第3期中期目標期間中に自己収入で取得した資産の減価償却に伴う損失を補填するために1億円を繰越積立金から取り崩し。



当期総利益: 1億円(対前年度 +89億円)

10. 純資産変動計算書(一般勘定)

◆ 純資産変動計算書…期中におけるすべての純資産の変動を表したもの。

当期末残高は貸借対照表の純資産の部に記載されている残高と一致する。

(単位:億円)

区分	I 資本金		II 資本剰余金						III 利益剰余金					純資産合計	
	政府出資金	資本金合計	資本剰余金	その他行政コスト累計額		民間出えん金	資本剰余金合計	前中期目標期間繰越積立金	積立金	当期未処分利益	うち当期総利益		利益剰余金		
				国庫納付差額	その他※						減価償却相当累計額(-)	除売却差額相当累計額(-)			うち当期総利益
当期首残高	1	1	△ 6	△ 6	0	△ 173	△ 108	587	301	2	96	△ 88	-	11	312
当期変動額															
I 資本金の当期変動額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
II 資本剰余金の当期変動額															
固定資産の除売却	-	-	-	-	-	0	△ 0	-	△ 0	-	-	-	-	-	△ 0
減価償却	-	-	-	-	-	△ 5	-	-	△ 5	-	-	-	-	-	△ 5
III 利益剰余金の当期変動額															
(1) 利益の処分又は損失の処理															
損失処理による積立金取崩し	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 88	-	-	△ 88	△ 88
利益処分(又は損失処理)による取崩し	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	88	-	-	88	88
(2) その他															
当期純利益(又は当期純損失)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 1	△ 1	△ 1	△ 1
前中期目標期間繰越積立金取崩額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 1	-	1	1	-	-
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△ 5	△ 0	-	△ 5	△ 1	△ 88	89	1	△ 1	△ 6
当期末残高	1	1	△ 6	△ 6	0	△ 178	△ 108	587	296	1	8	1	1	10	307

※ 機構発足時に国から承継した資産

当期末残高: 307億円

11. キャッシュ・フローの状況(一般勘定)

(単位:億円)

区分	3年度	4年度	増減
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	314	△ 419	△ 734
人件費支出	△ 48	△ 48	0
学資貸与金の貸付による支出	△ 8,664	△ 8,477	187
修学支援学資支給金の支給による支出	△ 1,427	△ 1,504	△ 77
借入金の返済等による支出	△ 26,335	△ 22,614	3,721
補助金等収入	2,423	1,893	△ 529
学資金の回収による収入	8,961	8,987	26
借入等による収入	26,557	21,732	△ 4,825
自己収入等	304	277	△ 27
その他収入・支出	△ 1,456	△ 666	791
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 14	152	166
有価証券の償還による収入	-	164	164
有形固定資産の取得による支出	△ 3	△ 8	△ 5
無形固定資産の取得による支出	△ 12	△ 9	3
その他収入・支出	△ 0	4	4
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6	△ 7	△ 1
リース債務の返済による支出	△ 6	△ 7	△ 1
IV 資金に係る換算差額	-	-	-
V 資金増加額	294	△ 275	△ 569
VI 資金期首残高	3,102	3,396	294
VII 資金期末残高	3,396	3,121	△ 275

業務活動によるキャッシュ・フロー: △419億円(対前年度△734億円)
貸与奨学金から給付奨学金へのシフトによる借入等の収入の減等。

投資活動によるキャッシュ・フロー: 152億円(対前年度+166億円)
有価証券の償還額の増等による資金の増。

財務活動によるキャッシュ・フロー: △7億円(対前年度△1億円)
リース債務の返済による支出の増等による。

資金増加額 : △275億円(対前年度△569億円)
上記により、前年度から275億円の資金の減。



資金期末残高: 3,121億円(対前年度 △275億円)

12. 資産・負債・純資産の状況(学資支給業務勘定)

資産・負債・純資産の状況

(単位:億円)

区分	3年度	4年度	増減
【資産の部】			
I 流動資産	17	5	△ 12
現金及び預金	16	3	△ 12
その他の流動資産	1	1	△ 0
II 固定資産	-	-	-
資産合計	17	5	△ 12
【負債の部】			
I 流動負債	7	0	△ 7
預り補助金等	7	0	△ 7
II 固定負債	10	4	△ 6
長期預り補助金等	9	4	△ 5
長期預り寄附金	1	0	△ 1
負債合計	17	5	△ 12
【純資産の部】			
I 資本金	-	-	-
II 資本剰余金	-	-	-
III 利益剰余金	-	-	-
純資産合計	-	-	-

資産合計: 5億円(対前年度 △12億円)

負債合計: 5億円(対前年度 △12億円)

純資産合計: - 億円

13. 行政コストの状況(学資支給業務勘定)

◆ 行政コスト計算書・・・行政サービスの提供に要したコスト(損益計算書上の費用及びその他行政コストを加算したもの)を記載。

区分	(単位:億円)		
	3年度	4年度	増減
I 損益計算書上の費用			
損益計算書上の費用合計	9	3	△6
II その他行政コスト			
減価償却相当額	-	-	-
減損損失相当額	-	-	-
除売却差額相当額	-	-	-
その他行政コスト合計	-	-	-
III 行政コスト	9	3	△6

I 損益計算書上の費用 : 3億円(対前年度 △6億円)
学資支給業務費用の減による。

II その他行政コスト : - 億円



I + II = III 行政コスト : 3億円(対前年度 △6億円)

※注記	3年度	4年度
行政コスト	9	3
自己収入等	-	△1
機会費用	-	-
独立行政法人の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト	9	3

14. 損益の状況(学資支給業務勘定)

損益の状況

(単位:億円)

区分	3年度	4年度	増減
【経常費用】	9	3	△6
学資金支給業務費	9	3	△6
【経常収益】	9	3	△6
学資支給基金補助金収益	9	3	△7
その他事業収入	-	1	1
資産見返補助金等戻入	-	-	-
経常利益	-	-	-
臨時損失	-	-	-
臨時利益	-	-	-
当期総利益	-	-	-

経常費用: 3億円(対前年度 △6億円)

学資支給金の支給額の減による。

経常収益: 3億円(対前年度 △6億円)

学資支給金業務費の減に伴う学資支給基金補助金収益の減等による。

経常損益: - 億円

臨時損益: - 億円

当期総利益 : - 億円(対前年度±0億円)

15. 純資産変動計算書(学資支給業務勘定)

- ◆ 純資産変動計算書・・・期中におけるすべての純資産の変動を表したもの。当期末残高は貸借対照表の純資産の部に記載されている残高と一致する。学資支給業務勘定においては発生していない。

(単位:億円)

区分	I 資本金	II 資本剰余金	III 利益剰余金	純資産合計
	資本金計	資本剰余金計	利益剰余金計	
当期首残高	-	-	-	-
当期変動額				
I 資本金の当期変動額	-	-	-	-
II 資本剰余金の当期変動額	-	-	-	-
III 利益剰余金の当期変動額	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	-
当期末残高	-	-	-	-



当期末残高: -億円

16. キャッシュ・フローの状況(学資支給業務勘定)

キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)

区分	3年度	4年度	増減
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	△ 9	△ 12	△ 3
人件費支出	-	-	-
学資支給金の支給による支出	△ 9	△ 3	6
学資支給金の回収による収入	0	0	0
その他の業務支出	-	△ 9	△ 9
寄附金収入	-	-	-
その他利息の受取額	0	0	0
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	-	-	-
有価証券の取得による支出	-	-	-
有価証券の償還による収入	-	-	-
無形固定資産の取得による支出	-	-	-
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	-	-	-
リース債務の返済による支出	-	-	-
IV 資金に係る換算差額	-	-	-
V 資金減少額	△ 9	△ 12	△ 3
VI 資金期首残高	25	16	△ 9
VII 資金期末残高	16	3	△ 12

業務活動によるキャッシュ・フロー: △ 12億円(対前年度 △ 3億円)
学資支給業務費用の減等による。

投資活動によるキャッシュ・フロー: -億円(対前年度 ±0億円)

財務活動によるキャッシュ・フロー: -億円(対前年度 ±0億円)

資金減少額 : △ 12億円(対前年度 △ 3億円)



資金期末残高 : 3億円(対前年度△12億円)